
南魚沼市の医療施設の 現状と課題

第1回医療のまちづくり検討委員会

魚沼地域医療再編について



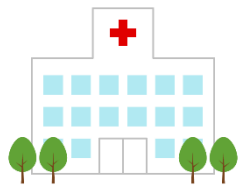
魚沼市立
堀之内病院
(80床)



新潟県立
小出病院
(383床)



南魚沼市立
ゆきぐに大和病院
(199床)



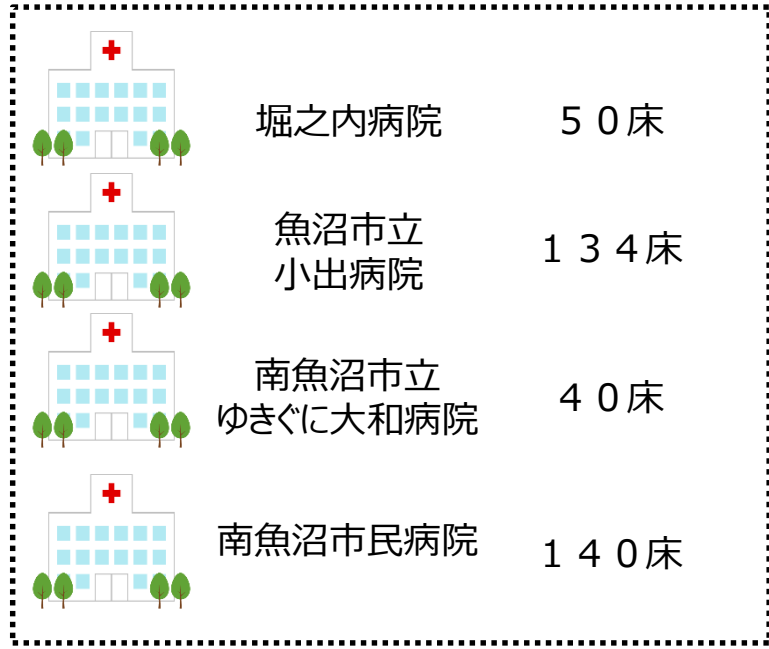
新潟県立
六日町病院
(199床)



魚沼基幹病院

(454床)

2015年開業



合計861床



合計818床 (-43床)

出典：毎日新聞 平成30年7月4日、一部改変

過去5年間の南魚沼市の医療機関の変化

地域	施設名	平成26年3月	平成30年4月
大和	大崎さくらクリニック	○	閉院
	萌気園浦佐診療所	○	○
	ゆきぐに大和病院	○	○
	魚沼基幹病院		○
六日町	五日町病院	○	○
	河内医院	○	○
	斎藤記念病院	○	○
	斎藤脳神経外科	○	閉院
	城内診療所	○	○
	坂内医院	○	閉院
	藤島眼科医院	○	○
	県立六日町病院→南魚沼市民病院	○	○
	やすかわ整形外科	○	○
	萌気園二日町診療所	○	○
	米倉医院	○	○
六日町こどもクリニック		○	
塩沢	青葉すこやかクリニック	○	閉院
	荒川診療所	○	○
	あんベクリニック	○	○
	ゆきあかり診療所	○	○
	静修医院	○	閉院
	風間医院	○	○
	中之島診療所	○	○
	中山医院	○	閉院

H26年 22医療機関



H31年 18医療機関

※6医療機関閉院
2医療機関開院

基幹病院開設前後での南魚沼市消防（湯沢町含む）の救急搬送件数の変化

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
管外搬送	428	365	172	216	246	293
魚沼基幹病院	0	793	1,153	1,271	1,111	1335
南魚沼市民	0	120	827	770	815	618
県立六日町	845	337	0	0	0	0
ゆきぐに大和	627	530	54	59	89	70
齋藤記念病院	616	500	328	358	342	314
湯沢病院	541	592	535	512	539	578
その他管内	54	79	64	53	46	53
計	3,111	3,316	3,133	3,239	3,188	3261

※魚沼基幹病院は平成27年6月開院、県立六日町病院は同年5月末日閉院、南魚沼市民病院は同年11月開院

※データについてはすべて年別データ（年度ではありません）

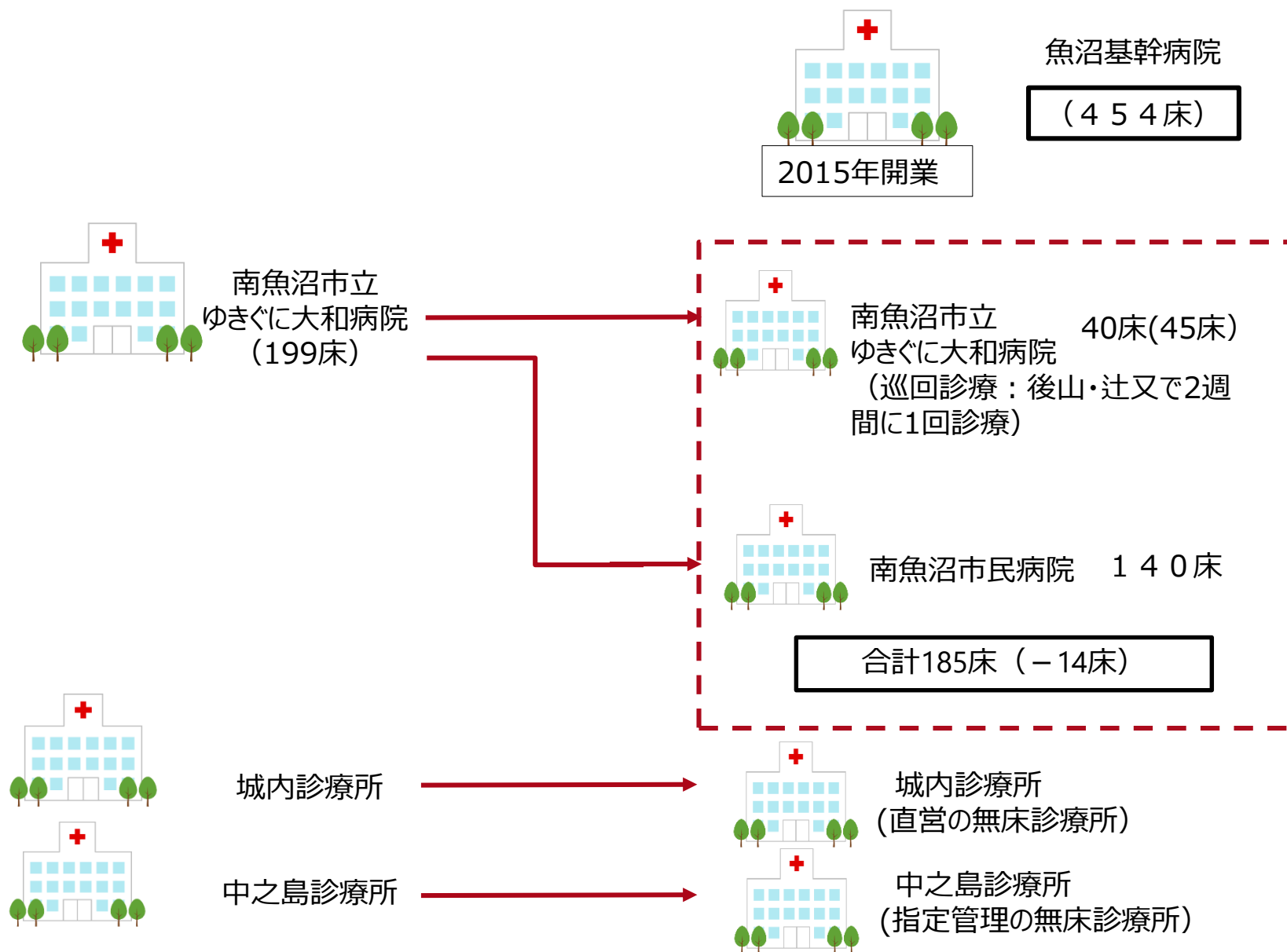
基幹病院開設前後での南魚沼市消防（湯沢町含む）の救急搬送件数の変化

管外診療科目別搬送人員

診療科目\覚知年	平成26年 2014	平成27年 2015	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	平成31年 2019
診療科目\医療機関管内外	管外	管外	管外	管外	管外	管外
その他	3	2	1	2	0	0
外科	51	35	5	10	7	8
眼科	5	3	1	0	0	1
救命センター	7	12	34	28	53	84
形成外科	0	1	0	0	0	0
呼吸器科	10	14	1	5	2	3
口腔外科	2	2	0	0	0	0
産婦人科	14	6	4	4	1	7
耳鼻咽喉科	8	7	0	0	0	1
循環器科	69	42	17	23	74	72
小児科	17	17	3	7	11	4
消化器科	21	15	1	3	5	2
神経科	0	1	0	0	0	0
整形外科	88	109	48	70	39	26
精神科	14	3	4	1	2	1
総合	1	0	2	3	0	1
内科	60	57	39	43	30	68
脳神経外科	33	26	5	17	18	14
脳神経内科	4	2	2	0	1	3
泌尿器科	19	11	4	0	3	1
皮膚科	2	0	1	0	0	0
合計	428	365	172	216	246	296

※魚沼基幹病院は平成27年6月開院、県立六日町病院は同年5月末日閉院、南魚沼市民病院は同年11月開院

市立病院群等の再編について

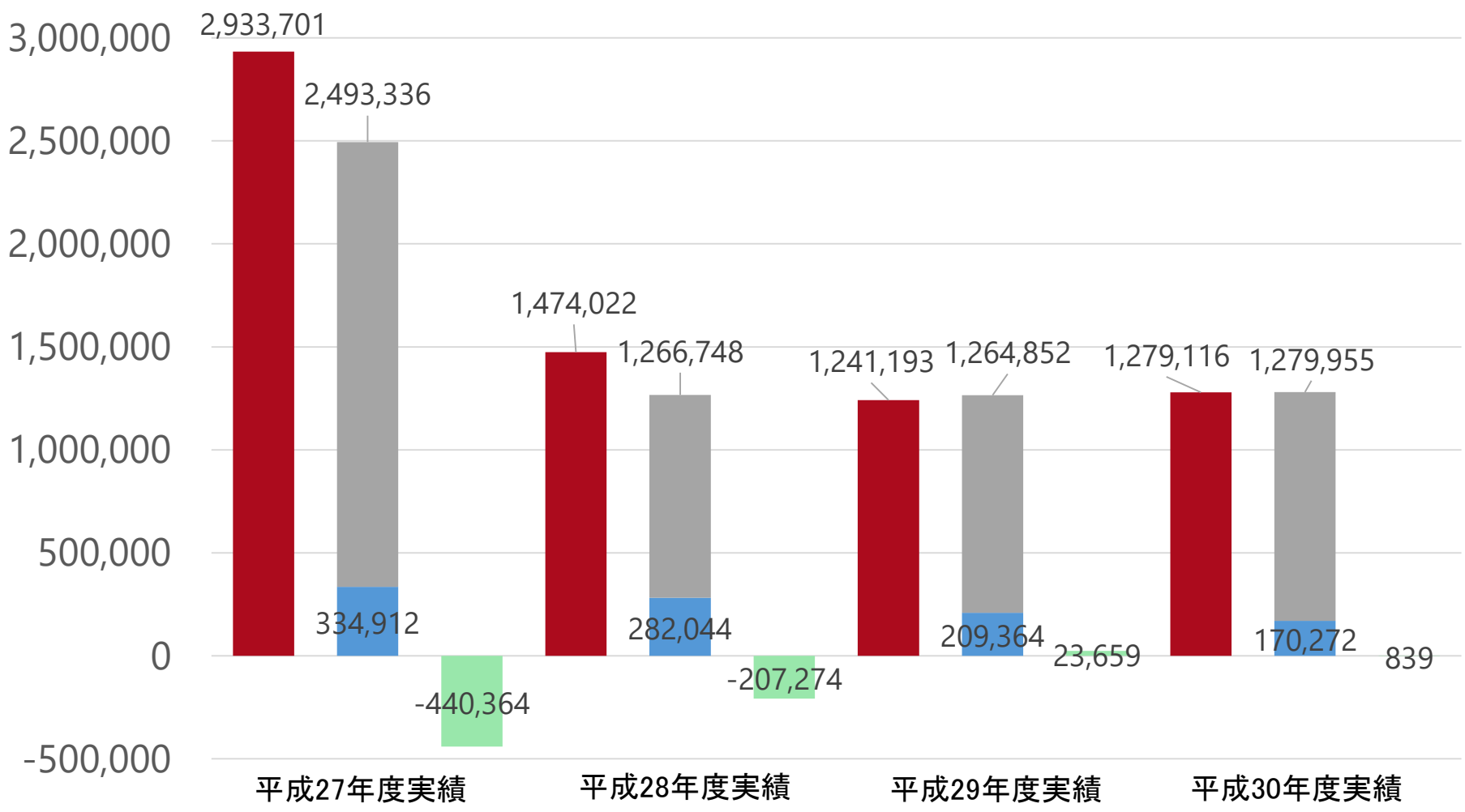


ゆきぐに大和病院の決算状況（過去4年分）

経常収支と経常損益の推移

南魚沼市病院事業会計決算書
繰入金：3条（収益）

単位：千円



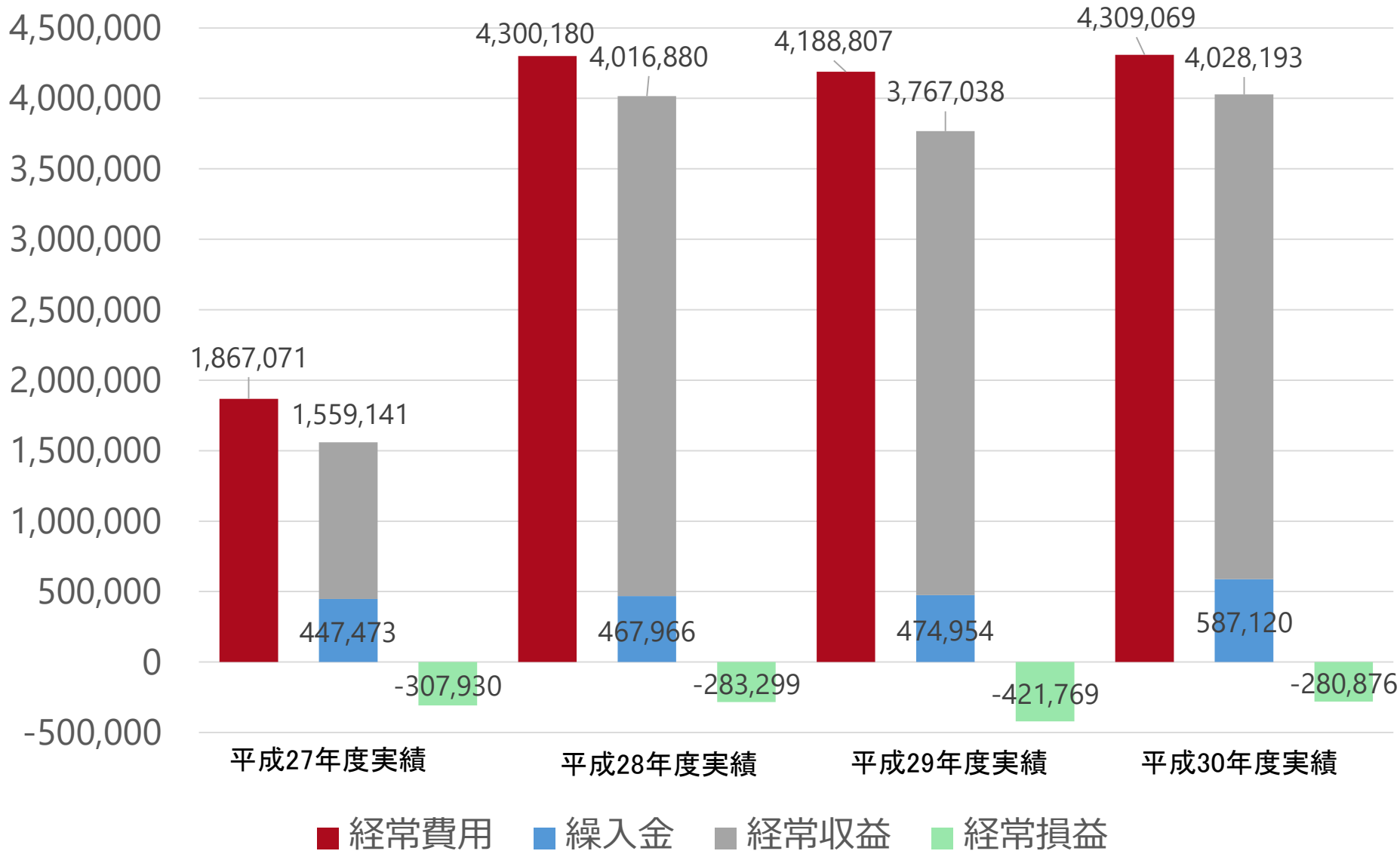
■ 経常費用 ■ 繰入金 ■ 経常収益 ■ 経常損益

市民病院の決算状況（過去4年分）

経常収支と経常損益の推移

南魚沼市病院事業会計決算書
繰入金：3条（収益）

単位：千円

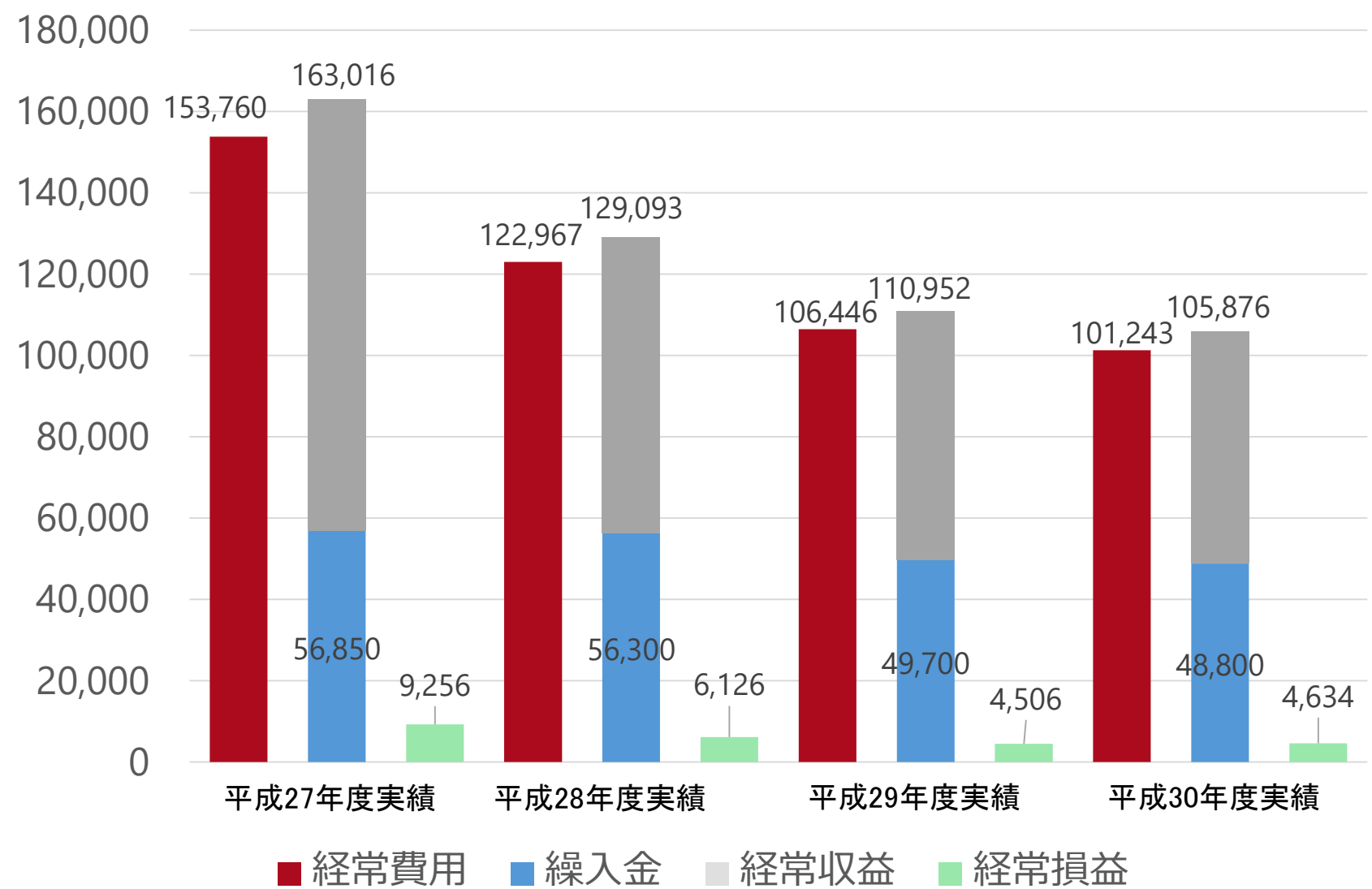


城内診療所の決算状況（過去4年分）

単位：千円

経常収支と経常損益の推移

城内診療所決算資料
繰入金：3条（収益）



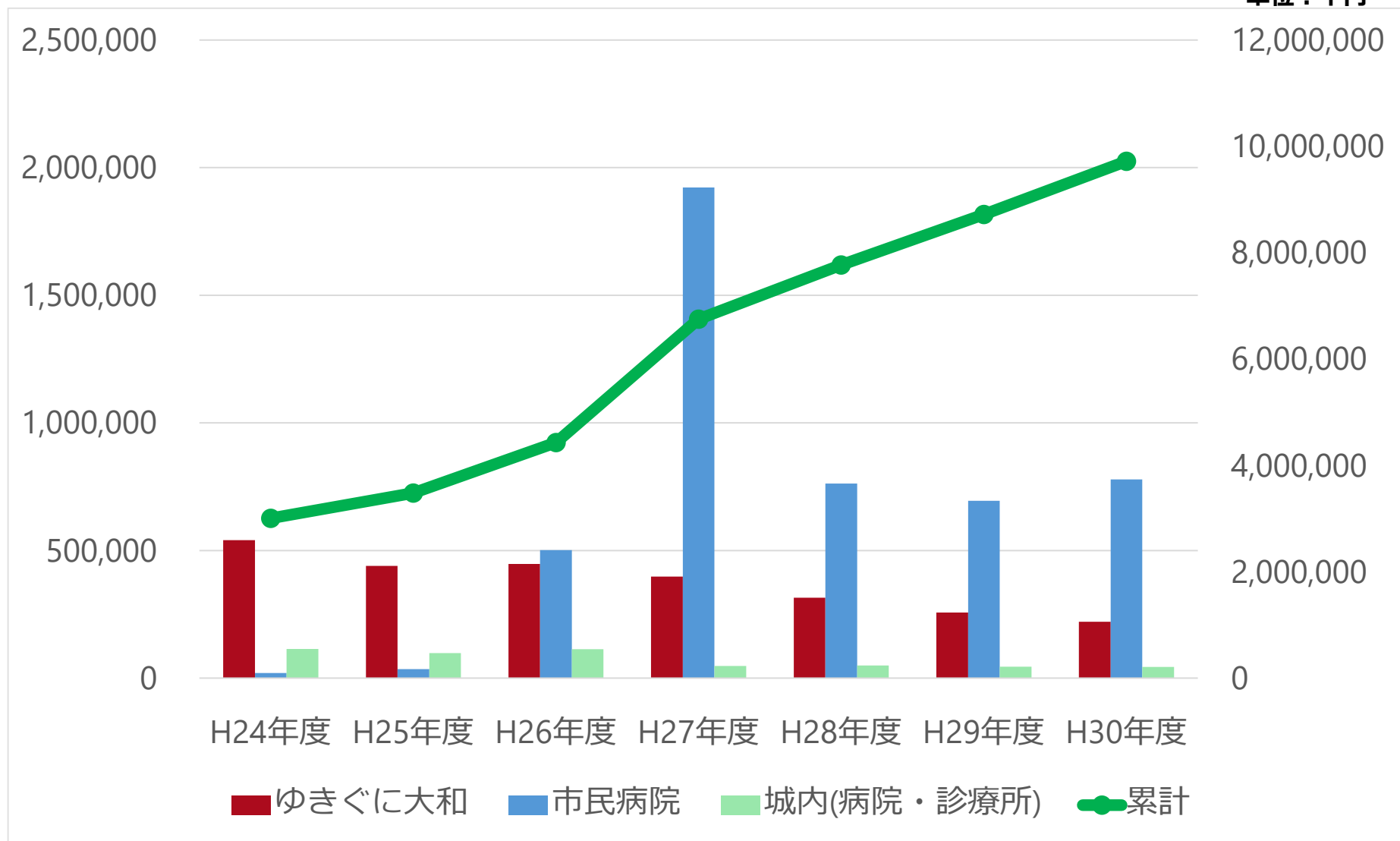
繰入金の変動

繰入金の推移

病院決算資料
繰入金 = 3条 (収益) + 4条 (資本)

単位：千円

単位：千円



市民病院群を取り巻く現場

医療再編の現状（魚沼基幹病院の現状）

- 454床⇒308床で稼働
 - 3～5年後に全病棟をオープンしているが、看護師がいないとオープンできない。
 - 地域内の病・医院在籍の看護師がターゲットになる可能性。
- 救急医療について当初ER型：1～3次を見込んでいたが⇒2～3次の一部分に変更
- 高度先進医療については心臓専門医が不在
- 平成31年度から地域包括ケア病床開設予定…
 - 他の病院の入院が減少する可能性
- 病棟拡大の大幅な遅れから、病院収益が伸びず、債務超過の懸念
 - 純損失が、基本財産から300万円を控除した額（30.47億円）を2年連続で超えると「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律」で定める解散事由に該当する。

循環器 急患受け入れ休止 魚沼基幹病院 来月以降

魚沼基幹病院（南魚沼市）が4月以降、急性心筋梗塞など心臓、血管に関する緊急患者の受け入れを休止することが20日、分かった。3人いた循環器内科の常勤医が1人となり、24時間対応ができなくなるため。当面は長岡市内の3病院に受け入れてもらう方針だが、治療開始が30～40分程度遅くなるケースも見込まれ、患者のリスクが高まる懸念がある。

公設民営方式で県が2015年に開設した魚沼基幹病院は、主に魚沼圏域の急性期医療の核に位置付けられている。前面に打ち出した救命救急の一部が機能しなくなる事態に陥り、早期の受け入れ再開を目指すのが、めどは立っていない。

基幹病院によると、循環器内科の常勤医は今年3月末までに1人が退職、2人は県内の別の病院への異動が決まっており、4月からは新任の1人だけとなる。他病院から非常勤医師の応援も受け、外来診療、緊急度を判断するトリアージ対応は維持する。

基幹病院で16年度に急性心筋梗塞の患者らに緊急的な治療を施したのは50件、17年度は昨年12月末までに40件だった。

基幹病院は当面、緊急の治療が必要な患者は長岡市の立川総合病院が長岡赤十字病院、長岡中央総合病院に搬送する対応を検討する。関係市町の消防にも協力を要請し、具体的な連携体制を調整している。ただ、地域の医療関係者からは「一刻を争う中で、長岡まで搬送すれば命を救えないケースも出かねない」と懸念する声も出ている。

基幹病院の内山聖・病院長は「救命救急のためにできた病院として非常に残念な状況で、地域住民に申し訳ない」とした上で、「再開に必要な医師確保に全力を挙げる」と述べた。

基幹病院に常勤医3人を派遣してきた新潟大大学院医歯学総合研究科循環器内科の南野徹教授は、退職者以外の2人を異動させることについて、基幹病院以外でも県内で退職が相次ぎ、補充のために配置換えが必要になったと説明。「県内全体の医療のレベルを維持し、医師一人一人の過重な負担を避けるための苦渋の選択だ」としている。



循環器内科で緊急的な治療を休止する魚沼基幹病院＝南魚沼市浦佐

【社会】 2018/03/21 10:45

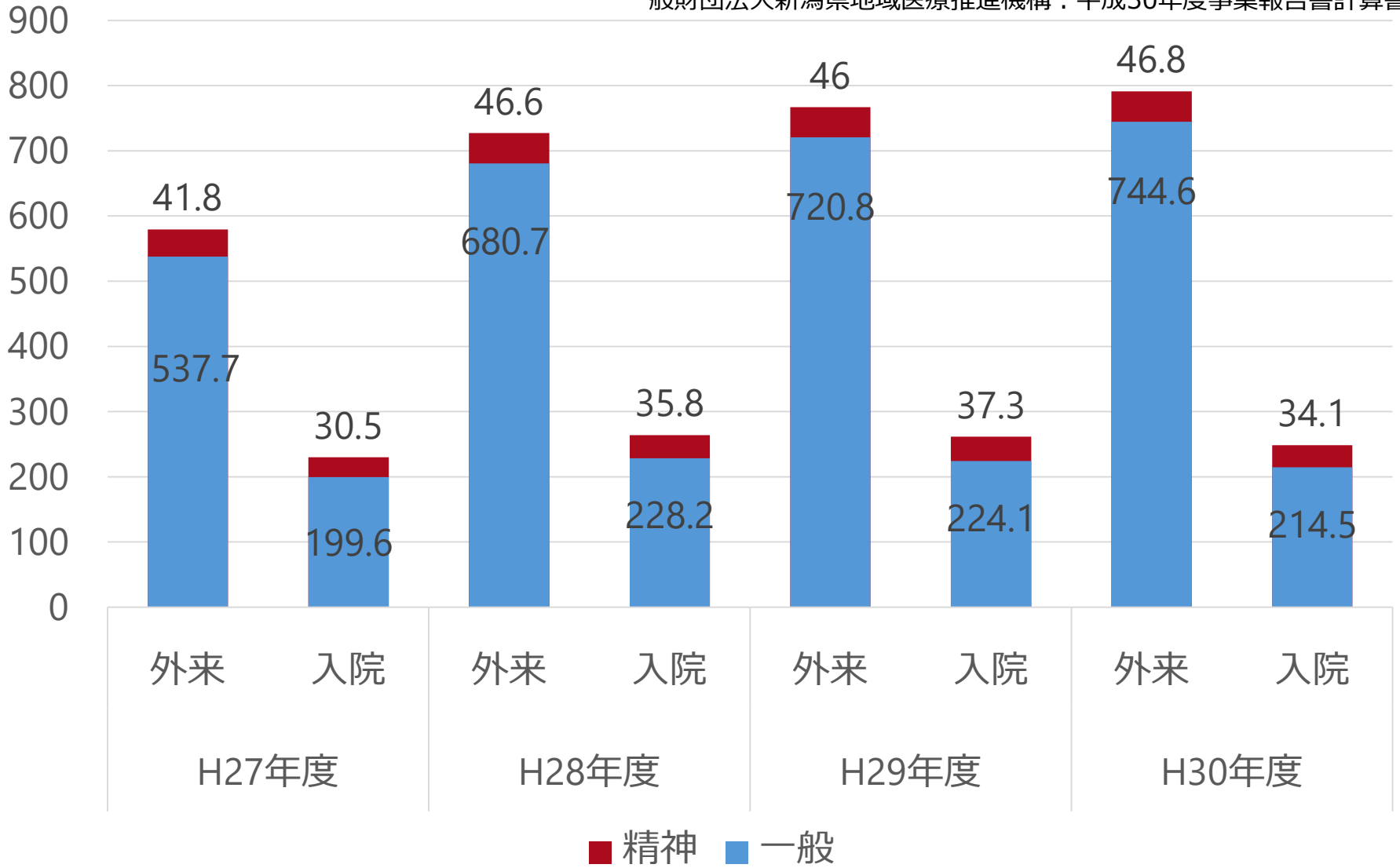
出典：新潟日報 2018年 3月21日社会面

魚沼基幹病院の患者数

外来と入院の推移

一般財団法人新潟県地域医療推進機構：平成30年度事業報告書計算書類

単位：人

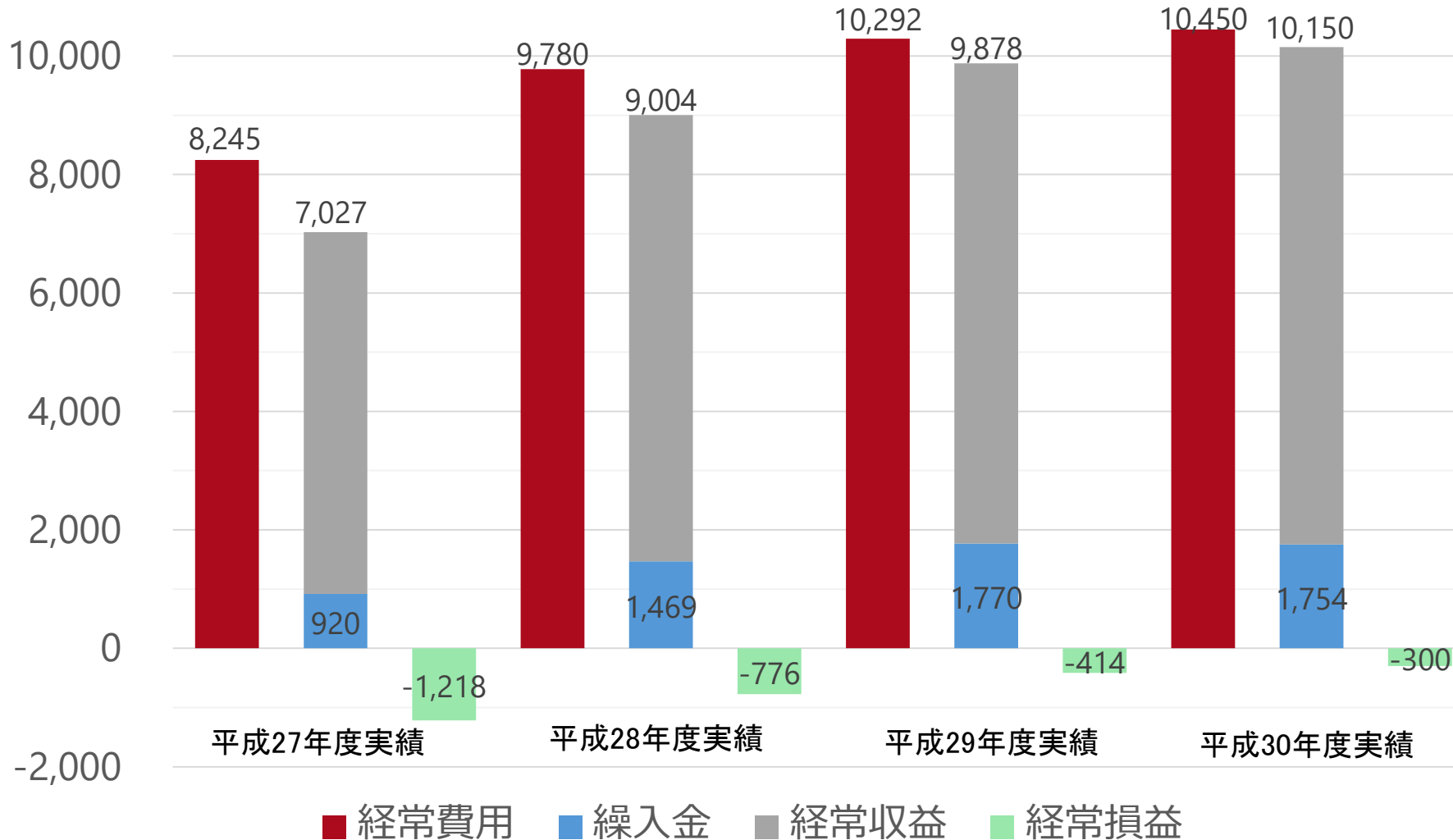


魚沼基幹病院の決算状況（過去4年分）

単位：百万円
12,000

経常収支と経常損益の推移

一般財団法人新潟県地域医療推進機構：平成30年度事業報告書計算書類



※魚沼基幹病院は平成27年6月開院。繰入金＝政策医療交付金（不採算医療について政策的に実施するために必要な経費にかかる交付金）

新潟県の現状(入院患者数)と2025年の推計 構想区域ごと

現状〔2014年〕

将来推計〔2025年〕

推計1:厚生労働省令に基づく推計

推計2:新潟県独自の推計

構想区域	病床機能	病床数 (H26病床機能報告)	入院患者数 (H26病院報告)	病床数	入院患者数 (医療需要)	病床数	入院患者数 (医療需要)
合計 (全県)	全体	22,320	17,313	18,283	15,620	18,724	15,978
	高度急性期	3,587		1,661	1,245	1,802	1,352
	急性期	10,725		5,730	4,469	5,881	4,587
	回復期	1,469		5,709	5,138	5,858	5,271
	慢性期	6,539		5,183	4,768	5,183	4,768
魚沼	全体	1,544	1,085	1,258	1,085	1,328	1,141
	高度急性期	0		76	57	99	74
	急性期	1,126		362	282	385	300
	回復期	120		424	382	448	403
	慢性期	298		396	364	396	364

※H26病床機能報告は無回答病床167床を含まない。

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合がある。

※新潟県独自の推計とは、構想区域ごとの疾病別に、病床数が不足しないよう、新潟県独自の疾病区分別の病床数を推計したもの

- 基準病床数 1,109床
(これ以上だと新陳代謝が低下)

この4つの数字を常に意識しています。

- いつも魚沼の議論は下から始まっているが。
- 既存病床数 1,385床 (休棟155床を含む)
- 病床機能報告数 1,261床 (介護医療院への転換119床)
- **必要病床数 1,258床 (県推計の1,328床は用いない)**

魚沼圏域は、全体でオーバーベッド(医療)。集約化した病院と診療所群に再編していく必要はないのか？

市町村人口別 必要病床数の割合（病床数）

【2025年将来の病床数の必要量】（全国・新潟県魚沼構想区域）

都道府県	構想区域	2025年人口	2025年将来の病床数の必要量（床）				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
全国	全国	122,544,102	130,455	400,632	375,246	284,488	1,190,821
新潟	魚沼	147,218	76	362	424	396	1,258



※魚沼構想区域の必要病床数を各市町村人口に按分

都道府県	市区町村	2025年人口	構成比	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
新潟県	南魚沼市	52,510	35.7%	27	129	151	141	449
新潟県	十日町市	47,330	32.1%	24	116	136	127	404
新潟県	魚沼市	31,668	21.5%	16	78	91	85	271
新潟県	津南町	8,470	5.8%	4	21	24	23	72
新潟県	湯沢町	7,240	4.9%	4	18	21	19	62
魚沼医療圏 合計		147,218	100.0%	76	362	424	396	1,258

令和元年調査(2025年)				20	788	353	100	1,252
差 (必要病床数－元年調査)				56	▲426	71	296	6

※令和元年調査は、病床機能報告と同じ自主申告。介護医療院への転換119床は除く。

三次医療圏別医師偏在指数

	医師偏在指標	順位
全国	238.3	
新潟県	169.8	46

二次医療圏別医師偏在指数

	医師偏在指標	順位
全国	238.3	
1 新潟	233.9	73
2 中越	147.5	222
3 上越	145.3	227
4 下越	125.7	280
5 魚沼	114.6	293
6 佐渡	107.3	302
7 県央	106.8	305

※順位は全国335医療圏中

介護保険事業の現状と課題

- 1) 地域包括ケアシステムの課題
- 2) 施設の待機状況と県外施設の利用

高齢者人口の将来推計

本市の将来人口は、平成27年の国勢調査（基準日10月1日）を基に、厚生労働省が作成した推計人口を採用しています。総人口は、2025（令和7）年の推計値は54,303人となる見込みです。高齢者人口は、平成27年の17,131人が、2025（令和7）年には19,074人と大きく増加することが見込まれます。高齢化率は、2025（令和7）年には35.1%となる見込みです。

年 齢		平成27年人口 (国勢調査)	平成28年 推計人口	平成29年 推計人口	2018(平成 30)年 推計人口	2019(平成 31)年 推計人口	2020(平成 32)年 推計人口	2025(平成 37)年 推計人口
男 性	総数	28,545	28,351	28,159	27,965	27,768	27,574	26,517
	0歳-39歳	11,273	11,075	10,879	10,681	10,481	10,284	9,464
	40歳-64歳	9,841	9,665	9,490	9,314	9,138	8,962	8,490
	65歳-74歳	3,831	3,987	4,144	4,300	4,455	4,611	4,165
	75歳以上	3,600	3,624	3,646	3,670	3,694	3,717	4,398
	高齢者人口	7,431	7,611	7,790	7,970	8,149	8,328	8,563
	高齢化率	26.0	26.8	27.7	28.5	29.3	30.2	32.3
女 性	総数	30,023	29,803	29,581	29,360	29,137	28,914	27,786
	0歳-39歳	10,849	10,638	10,426	10,215	10,002	9,790	9,060
	40歳-64歳	9,474	9,335	9,195	9,057	8,916	8,776	8,215
	65歳-74歳	3,863	3,996	4,128	4,260	4,393	4,525	4,243
	75歳以上	5,837	5,834	5,832	5,828	5,826	5,823	6,268
	高齢者人口	9,700	9,830	9,960	10,088	10,219	10,348	10,511
	高齢化率	32.3	33.0	33.7	34.4	35.1	35.8	37.8
計	総数	58,568	58,154	57,740	57,325	56,905	56,488	54,303
	0歳-39歳	22,122	21,713	21,305	20,896	20,483	20,074	18,524
	40歳-64歳	19,315	19,000	18,685	18,371	18,054	17,738	16,705
	65歳-74歳	7,694	7,983	8,272	8,560	8,848	9,136	8,408
	75歳以上	9,437	9,458	9,478	9,498	9,520	9,540	10,666
	高齢者人口	17,131	17,441	17,750	18,058	18,368	18,676	19,074
	高齢化率	29.2	30.0	30.7	31.5	32.3	33.1	35.1

介護従事者実態調査における傾向

介護従事者の年齢層について

最も多くを占めているのは、30歳から49歳であったが、50歳代以上で介護従事者全体の約43%を占めている。

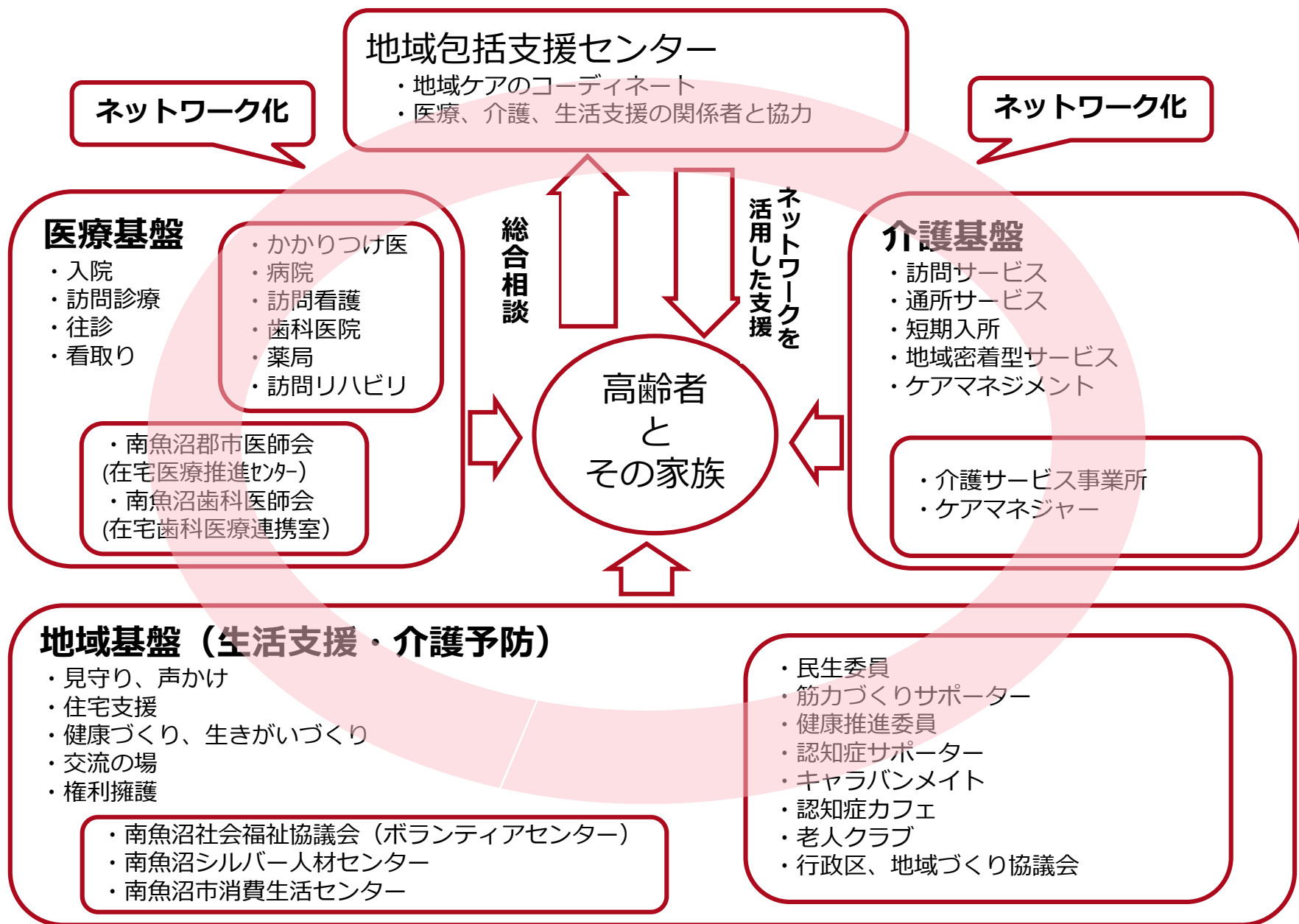
職種	29歳以下	30～49歳	50～59歳	60歳以上	計
介護職員	130	479	202	144	955
看護職員	3	26	69	58	156
主任ケアマネジャー	0	3	9	1	13
ケアマネジャー	0	33	41	10	84
作業療法士、理学療法士	11	38	5	2	56
その他	5	14	9	11	39
計	149	593	335	226	1,303

業務量を考えた場合、介護従事者はあと何人必要と感じるか（複数回答可）

介護職員が特に不足しており、全体であと132人の介護従事者が必要であるという結果であった。

介護職員	77人	作業療法士、理学療法士	8人
看護職員	31人	その他	1人
主任ケアマネジャー	2人	計	132人
ケアマネジャー	13人		

地域包括ケアシステムの構築に向けた推進体制



特別養護老人ホーム待機者状況

■ 特養待機者状況

・平成26年から現在まで介護認定3～5の待機者数は330人～340人前後で推移している。その内約65%が在宅での待機で、待機期間は1年6カ月前後となっている。

R元年9月30日現在 待機者数

区分	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計	介護3～5
1 在宅	4	12	24	103	80	34	257	217
2 老健		2	8	32	29	15	86	76
3 病院・介護療養				2	4	3	9	9
4 GH等その他	1	9	18	25	12	5	70	42
総計	5	23	50	162	125	57	422	344

区分	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計	介護3～5
H26.3.31	7	29	83	151	114	58	442	323
H27.3.31	7	30	80	143	130	58	448	331
H28.3.31	4	33	69	143	146	56	451	345
H29.3.31	4	22	52	148	142	58	426	348
H30.3.31	6	25	56	145	128	63	423	336
H31.3.31	5	22	47	148	129	56	407	333
R1.9.30	5	23	50	162	125	57	422	344

市外施設入所者状況

■市外施設入所者状況

・平成26年から現在まで、全体では93人から160人に増加している。各施設区分で増加傾向にあるが、特に特定施設が36人から81人と大幅に増えている。在宅介護が難しくなり、経済的負担が増えても市外施設に入所し、市内の施設の空きを待つ人が増えていると推測する。

施設種別	地域別	26年3月末 利用者数	27年3月末 利用者数	28年3月末 利用者数	29年3月末 利用者数	30年3月末 利用者数	31年3月末 利用者数	R1年9月末 利用者数
特別養護 老人ホーム	湯沢町	28人	29人	28人	28人	29人	30人	30人
	県内	2人	3人	4人	4人	4人	3人	3人
	県外	2人	3人	4人	4人	3人	4人	6人
	小計	32人	35人	36人	36人	36人	37人	39人
介護療養 型医療施設	県内	9人	12人	19人	20人	20人	17人	18人
	県外	0	0	0	0	0	0	0
	小計	9人	12人	19人	20人	20人	17人	18人
介護老人 保健施設	県内	12人	13人	15人	12人	12人	13人	13人
	県外	4人	4人	4人	6人	11人	13人	9人
	小計	16人	17人	19人	18人	23人	26人	22人
特定施設 入居者生 活介護	県内	9人	12人	8人	7人	8人	7人	8人
	県外	27人	22人	32人	39人	56人	69人	73人
	小計	36人	34人	40人	46人	64人	76人	81人
合計		93人	98人	114人	120人	143人	156人	160人

移動手段に関する提案

■ 高齢者の通いの場の創設

- ・ 六日町市街地の通所型サービスや介護予防教室を温浴施設（南魚沼市福祉センター）で実施するにあたり、巡回バスを訪問型サービスDの移動・生活支援として取組むもの。

